



資料提供年月日	令和5年2月10日	
問い合わせ先	課名	財政課
	電話	直通 803-1146 内線 4410
担当者	職氏名	課長 西 課長補佐 河合

広報連絡

<市長記者会見資料>

- 1 件名 令和5年度当初予算（案）のポイントについて
- 2 内容 別紙のとおり

令和5年度当初予算(案)のポイント

～ かわる、はぐくむ、躍動する おかやま ～

令和5年度当初予算(案)は、新型コロナウイルス感染症の長期化やエネルギー・食品等の価格上昇が、地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼすなか、感染症対策・物価高騰対策に万全を期しつつ、

○街を楽しむ ○地域の振興 ○子育て・教育 等の各分野、

さらにはDX・GXの推進など、重要施策に取り組むとともに、今後の物価高騰対策等にも臨機応変に対応できるよう、業務改革の推進や経常的経費の予算額の見直し、有利な財源及び備えてきた基金の活用などにより、将来負担の軽減を含めた一般財源を確保することで、過去最高額となった令和5年度の当初予算においても健全な財政運営を維持しつつ編成しています。

当初予算(案)の規模

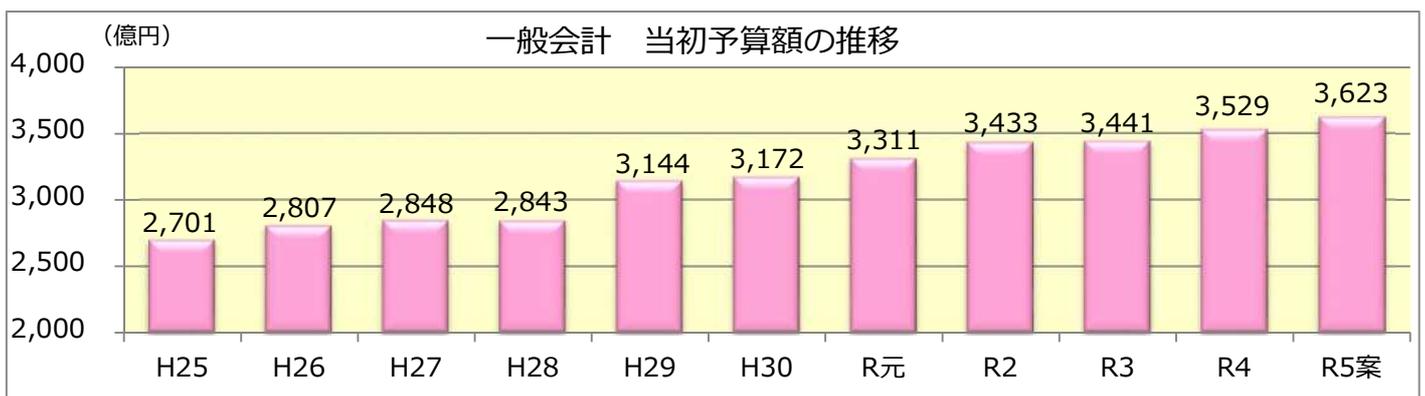
1. 会計別予算額

(単位：億円)

区分	令和5年度 当初予算(案)	令和4年度 当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	3,623	3,529	93	2.6%
特別会計	1,992	1,960	33	1.7%
事業会計	768	774	△5	△0.7%
合計	6,383	6,263	121	1.9%

※増減額は、
四捨五入により
端数調整を
行っております。

- 一般会計は、光熱水費等の物価高騰に要する経費や新庁舎整備事業費などの増加、前年度比+93億円、2.6%の増
- 障害者自立支援関係費など社会保障費の増加、前年度比+17億円、1.4%の増
- 新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策は、前年度比+23億円、92.2%の増



2. 歳入・歳出予算の増減主なもの (一般会計)

[歳入]

- 市税 +27億円 給与所得増や堅調な企業業績などによる市民税の増 など
- 地方譲与税・交付金 +23億円 地方消費税交付金の増 など
- 市債(臨財債を除く) △39億円 岡山芸術創造劇場整備費の減や新庁舎整備事業費の増 など
- 国・県支出金 +66億円 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の増 など

[歳出]

- 物件費 +59億円 光熱水費や岡山芸術創造劇場の指定管理料の増 など
- 扶助費 +11億円 障害者自立支援関係費や子どものための教育・保育給付費の増 など
- 普通建設事業費 △20億円 岡山芸術創造劇場整備費の減や新庁舎整備事業費の増 など

健全で持続可能な財政運営

将来世代に負担を先送りしないよう、中長期的な展望に立ち、財政運営の健全性を確保した上で、岡山市の持続的な発展と市民生活の充実に資する取組を各分野で着実かつ積極的に進めます。

財源調整のための基金

令和5年度は、光熱水費や建築資材などの物価高騰等に対応するため、財政調整基金の取崩しの増額など、財源調整のための基金から前年比で10億円増の90億円を取り崩しています。

今後の物価高騰や感染状況が見通せない中、あらゆる事態における迅速かつ機動的な対応への備えとして、前年度の決算剰余の積み立てにより**基金の残高を前年度と同額程度に維持し、不足する財源の確保**に努めています。

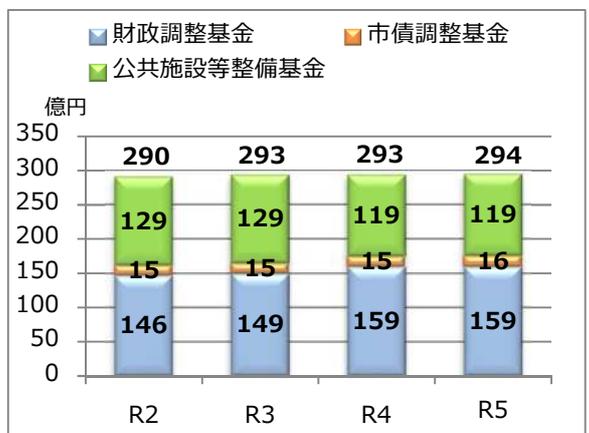
当初予算編成時点の取崩額

(単位：億円)

区 分	R2	R3	R4	R5	増減額 R5-R4
財政調整基金	50	50	50	70	20
市債調整基金	0	0	0	0	0
公共施設等整備基金	20	20	30	20	△ 10
合 計	70	70	80	90	10

※市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの

当初予算編成時点の基金残高



市債残高

一般会計全体の市債残高のうち、臨時財政対策債等(※)を除いた通常債の残高は、借入額の抑制により継続的に減少してきましたが、喫緊の課題への対応などに伴い令和2年度当初予算から増加に転じています。

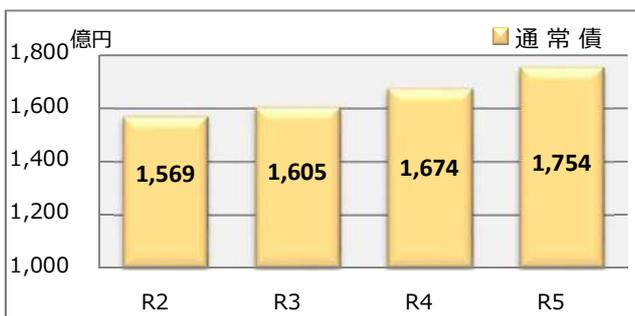
今後も公共施設の老朽化対策や再整備などにより、市債借入額の増加が見込まれるため、**後年度に国から財源措置のある有利な市債の活用**に努め、将来の返済が財政を圧迫しないよう、市債残高を管理しています。

(※)臨時財政対策債等・・・返済のための財源が全額国から手当てされるもの

市債残高（一般会計）

(単位：億円)

区 分	R2	R3	R4	R5
全 体	3,479	3,590	3,658	3,475
臨時財政対策債等	1,910	1,985	1,984	1,721
通常債	1,569	1,605	1,674	1,754



○令和5年度の通常債借入額は、264億円で前年度より39億円減少しています(前年度比12.9%減)。

○新庁舎や可燃ごみ広域処理施設、幼保一体化施設の整備など、喫緊の課題への対応を着実に進める一方で、合併特例債・合併推進債の交付税算入率が高く、財政的に有利な市債を活用することで、交付税算入がない市債と比較して、**31億円の縮減を図る**など、将来の財政負担を抑制しています。

【交付税算入率（発行額のうち、市負担にならない割合）】
過去10年平均 35.5% **令和5年度 39.5%**

【参考】 R3 決算指標（普通会計）

- ① 将来負担比率 - (政令市1位)
- ② 実質公債費比率 5.1 (政令市6位)
- ③ 経常収支比率 85.5 (政令市2位)

主な施策・事業

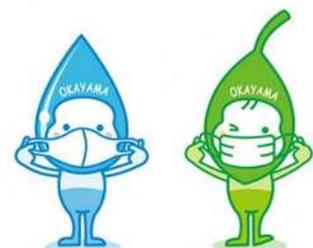
新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策

令和5年度における新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策は、国の経済対策に呼応した令和4年度2月補正予算への前倒しなどを含め、感染拡大防止対策を中心に、地域経済や市民生活への支援などに必要な予算を編成しています。

一方、感染症や物価高騰による今後の地域経済などへの影響が予測できない中、必要とされる経済対策や市民生活支援策などについては、国や県の動向を踏まえつつ、コロナ臨時交付金などを活用しながら、迅速かつ積極的に講じてまいります。

＜主な事業＞	令和5年度 当初予算	2月補正 前倒等予定
(単位:千円)		
1. 感染拡大防止と次なる危機への備え	4,070,623	3,167,404
ワクチン接種体制の確保 <small>新型コロナウイルスワクチン接種に係る体制確保</small>	2,944,000	0
新型コロナウイルス感染症対策事業 <small>保健所運営、PCR検査の実施、受診相談センターの運営、自宅療養者への対応 など</small>	0	2,800,000
感染防止用品等の購入 <small>公共施設や市民窓口等の感染予防対策として、マスクや消毒液等を購入</small>	141,263	344,404
新しい生活様式対応 <small>デジタル化・オンライン化、施設整備や設備更新 など</small>	876,186	23,000
2. 地域経済等への支援	117,537	0
中小企業支援事業費補助金（省エネ設備） <small>中小・小規模事業者の省エネ等生産性向上に向けた意欲的な取組を支援</small>	60,000	0
歴史・文化遺産の魅力発信 <small>市の歴史観光資源を活用し、誘客につながる観光コンテンツの開発や情報発信を実施</small>	25,000	0
専門家派遣事業 <small>商工会議所等へ中小企業診断士・社会保険労務士等を派遣し相談会を実施</small>	12,000	0
3. 市民生活・活動への支援	476,585	0
緊急対応型雇用創出・研修事業 <small>解雇等で就労機会を失った方々を職員として雇用 など</small>	131,760	0
生活困窮者等支援事業（相談・居住・就職・家計支援等）	125,500	0
短期集中型就労支援事業（生活困窮者への各種就労支援を含む）	101,800	0
子どもの学習サポート事業（訪問・オンライン型）	30,330	0
ひとり親家庭等相談・支援事業	17,668	0
子どもの居場所等事業継続支援事業	7,200	0
合 計	4,664,745	3,167,404

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関係予算は、上記令和5年度当初予算 約47億円、令和4年度2月補正へ前倒し予定 約32億円、総額 約79億円程度となる見込みです。



<主な事業>

(単位：千円)

令和5年度
予算額

別紙1資料
ページ

■ 街を楽しむ				
にぎわい 創出	歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり		155,200	3
	岡山芸術創造劇場開館に合わせた商店街活性化事業	拡充	90,000	5
	市街地再開発事業の促進		4,273,260	5
	岡山城主要部跡地整備推進事業	新規	20,000	17
	岡山芸術創造劇場ハレノワの開館		1,206,000	17
	おかやまアーツフェスティバル	新規	85,500	18
	多目的屋内施設（アリーナ）の基本計画策定		30,000	20
公共交通	岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業		1,707,900	4
	バリアフリー推進事業（移動等円滑化促進）	拡充	27,800	10
	持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けたあり方検討	新規	10,000	11
■ 地域の振興				
経済・産業の 振興	地域の未来づくり推進事業		182,500	9
	地域おこし協力隊事業		44,600	9
	活力ある農業の振興	拡充	245,780	6
	有害鳥獣による農作物被害等への対策（イノシシ等）		100,000	6
	危険木伐採支援事業	新規	2,000	7
	道路ネットワークの充実・強化		3,719,954	13
地域の歴史・ 文化の継承	日本遺産活用推進事業		197,900	7
	文化財と観光の融合による新たな魅力づくり事業	拡充	284,711	16
生活機能サービ スの維持・向上	新たな生活交通の確保事業	拡充	25,000	11
	道路施設の長寿命化事業	拡充	2,377,500	44
■ 子育て・教育				
子ども・子育て 支援	子育て環境の施設整備推進事業		3,347,000	21
	保育士確保対策		432,000	21
	保育園等における利便性向上の推進	新規	61,900	22
	放課後児童健全育成事業		3,243,300	22
	産後ケア事業	拡充	13,700	23
	子ども医療費助成事業	拡充	2,446,000	23
	医療的ケア児等の受入体制の整備		26,000	24
	困難を抱える子どもとその家庭への支援	拡充	1,140,367	24
	児童虐待防止の推進	拡充	93,800	25
	ヤングケアラー支援体制強化事業	新規	16,900	25
教育環境 整備	問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業	拡充	469,718	28
	学校業務アシスト事業	拡充	105,000	29
	部活動地域移行モデル事業	新規	13,300	30
	学校特別教室空調設備整備事業		52,200	31
	新教育研究研修センター（仮称）整備事業	新規	37,000	32

(単位：千円)

令和5年度
予算額別紙1資料
ページ

■ 産業・観光の振興			
中小企業活性化事業	拡充	112,000	1
スタートアップ支援事業	拡充	100,000	2
企業立地推進事業	拡充	1,292,000	2
「歴史を伝える城、集う城」岡山城魅力アップ事業		180,000	16
■ DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進			
中小企業デジタル化推進事業	拡充	96,400	1
スタートアップ支援事業《再掲》	拡充	100,000	2
G I G Aスクール構想によるI C T活用支援事業	拡充	393,000	32
業務改革推進事業		28,000	51
区役所窓口のスマート化事業		7,885	52
■ GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進			
地球温暖化対策事業	拡充	1,646,959	48
プラスチック資源分別回収・リサイクル事業《再掲》	新規	184,800	49
■ PHO（Positive Health Okayama）			
生涯活躍就労支援事業		33,500	36
アプリを活用した健康的な生活習慣推進事業	新規	80,000	36
フレイル対策事業（早期発見で介護リスク軽減など）	拡充	10,400	37
がん対策事業（がん患者アピランスサポート事業など）	拡充	12,600	38
在宅介護総合特区～A A Aシティおかやま～の推進	拡充	39,540	39
在宅医療介護・在宅看取り等普及啓発事業	新規	7,140	40
認知症サポーター活動促進事業（チームオレンジ）	拡充	7,900	40
地域共生社会の推進（重層的支援体制整備事業）《再掲》	拡充	1,733,278	41
■ 安全・安心なまちづくり			
野犬対策事業	拡充	33,000	42
下水道・河川等による浸水対策事業		3,093,503	43
新庁舎整備事業		2,122,000	43
用水路等転落防止対策事業		50,000	44
水道施設・管路耐震化等更新事業		8,594,000	45
下水道施設の耐震化・再構築（リノベーション）事業		3,007,209	45
地域防災力強化事業（各種ハザードマップの全戸配布など）	拡充	481,400	46
防犯カメラ設置支援事業	拡充	18,000	47
ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業		3,088,000	50
■ SDGsの推進			
女性が輝くまちづくり事業		14,600	26
SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業		33,000	34
海ごみ地域対策推進事業	拡充	10,000	49

市長査定項目

予算要求段階以降、直面する課題への対応をふまえ、市長の最終的な判断により
予算化したものは以下のとおりです。

(単位:千円)

事業名	内容等	当初 要求額	市長 査定額	最終 予算額
多目的屋内施設(アリーナ)の 基本計画策定	プロスポーツチームやアマチュアチームの試合や練習会場となる「新アリーナ」について、具体的な課題や条件を整理し、効果的かつ実現可能なアリーナの姿を描く基本計画を取りまとめます。	5,000	25,000	30,000
子ども医療費助成事業	子どもに係る医療費助成制度を拡充し、子どもの健康の保持及び増進に寄与するとともに児童福祉の向上を図ります。	2,303,943	144,000	2,446,000
保育士確保対策	令和4年度までの時限事業であった待機児童対策の事業内容を見直した上、令和5年度も事業を継続します。	—	432,000	432,000
がん対策事業	がん患者が自分らしく社会活動を行えるようアピアランス支援(ウィッグ購入費用の補助)を実施します。	5,400	7,200	12,600
岡山芸術創造劇場開館に合わせた 商店街活性化事業	新劇場の開館に合わせて、商店街の魅力向上のためアーケード等の基盤整備補助を拡充します。	31,000	59,000	90,000
企業立地推進事業	オフィスビル等の空室を利用した企業誘致を図るため、賃料補助を追加します。 (制度の拡充 令和5年度当初予算なし)	—	—	—
用水路等転落防止対策事業	用水路等への転落事故がまだ発生しているため、引き続き危険箇所に対する安全対策を進めます。	5,000	45,000	50,000
持続可能な公共交通ネットワークの 構築に向けたあり方の検討	公共交通の利便性の向上及び経営の安定化に資する取組を着実に推進するため、今後の公共交通のあり方について検討します。	—	10,000	10,000
UD(ユニバーサルデザイン)タクシー 導入促進補助	誰もが安心・安全で快適に利用できる交通環境の整備を推進するため、UD(ユニバーサルデザイン)タクシーの導入補助を拡充し、導入促進を図ります。	3,000	12,000	15,000
不登校児童生徒支援員配置事業 (ICTを活用した学習・相談支援)	学習サポート(授業配信等)やICTを活用した学習・相談支援の充実を図るために不登校児童生徒支援員を新たに配置します。	—	5,000	5,000
合 計		2,353,343	739,200	3,090,600

令和5年度当初予算(案)の概要

～ かわる、はぐくむ、躍動する おかやま ～

令和5年2月



岡山市
OKAYAMA CITY

令和5年度当初予算（案）の特徴

令和5年度当初予算(案)は、新型コロナウイルス感染症の長期化やエネルギー・食品等の価格上昇が、地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼすなか、感染症対策・物価高騰対策に万全を期しつつ、

重点施策に着実に取り組む

○街を楽しむ

（岡山芸術創造劇場ハレノワの開館 等）

○地域の振興

（地域振興基金を活用した経済・文化・生活の向上 等）

○子育て・教育

（子ども医療費助成の拡充、児童虐待防止の推進 等）

さらには、DX・GXの推進など、重要施策に取り組むとともに、

今後の物価高騰対策などにも臨機応変に対応できるように、

令和5年度当初予算（案）の特徴

○経常的経費の予算額の見直し(前年度比 約14億円の削減)

○有利な財源の活用

(交付税算入率が高い地方債:合併推進債、合併特例債、緊急防災・減災事業債、公共施設等適正管理推進事業債 など)

さらに、

○財政調整基金(70億円)、公共施設等整備基金(20億円)等の基金活用

将来負担の軽減を含めた一般財源を確保することで、過去最高額となった令和5年度当初予算においても健全な財政運営を維持しつつ予算編成

今後の新型コロナ・物価高騰対策への備え

○令和5年度当初予算編成において財政調整基金などを90億円活用するも、

決算剰余の積立により基金残高を前年度とほぼ同程度に維持

(令和5年度当初予算編成後の財源調整のための基金残高 294億円(前年度293億円))

○新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を約30億円 留保

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策

<令和5年度当初予算(案)>

▷感染拡大防止 など

ワクチン接種体制の確保
感染防止用品等の購入
新しい生活様式対応(デジタル化、設備更新など)

▷地域経済等への支援

中小企業支援事業費補助金(省エネ設備)
専門家派遣事業

▷市民生活・活動への支援

緊急対応型雇用創出・研修事業
生活困窮者等支援事業(相談、居住、就職、家計支援など)
子どもの学習サポート事業(訪問・オンライン型)
子どもの居場所等事業継続支援事業

関係予算の総額 約79億円

・令和5年度当初予算 約47億円
・令和4年度2月補正予定 約32億円

※2月補正予定の主な事業
・保健所の検査体制確保など感染症対策
・感染防止用品等の購入

<今後の補正予算>

○財政調整基金などの基金
(前年度と同額程度を維持)

○新型コロナ臨時交付金
(留保分約30億円)

などを活用し、

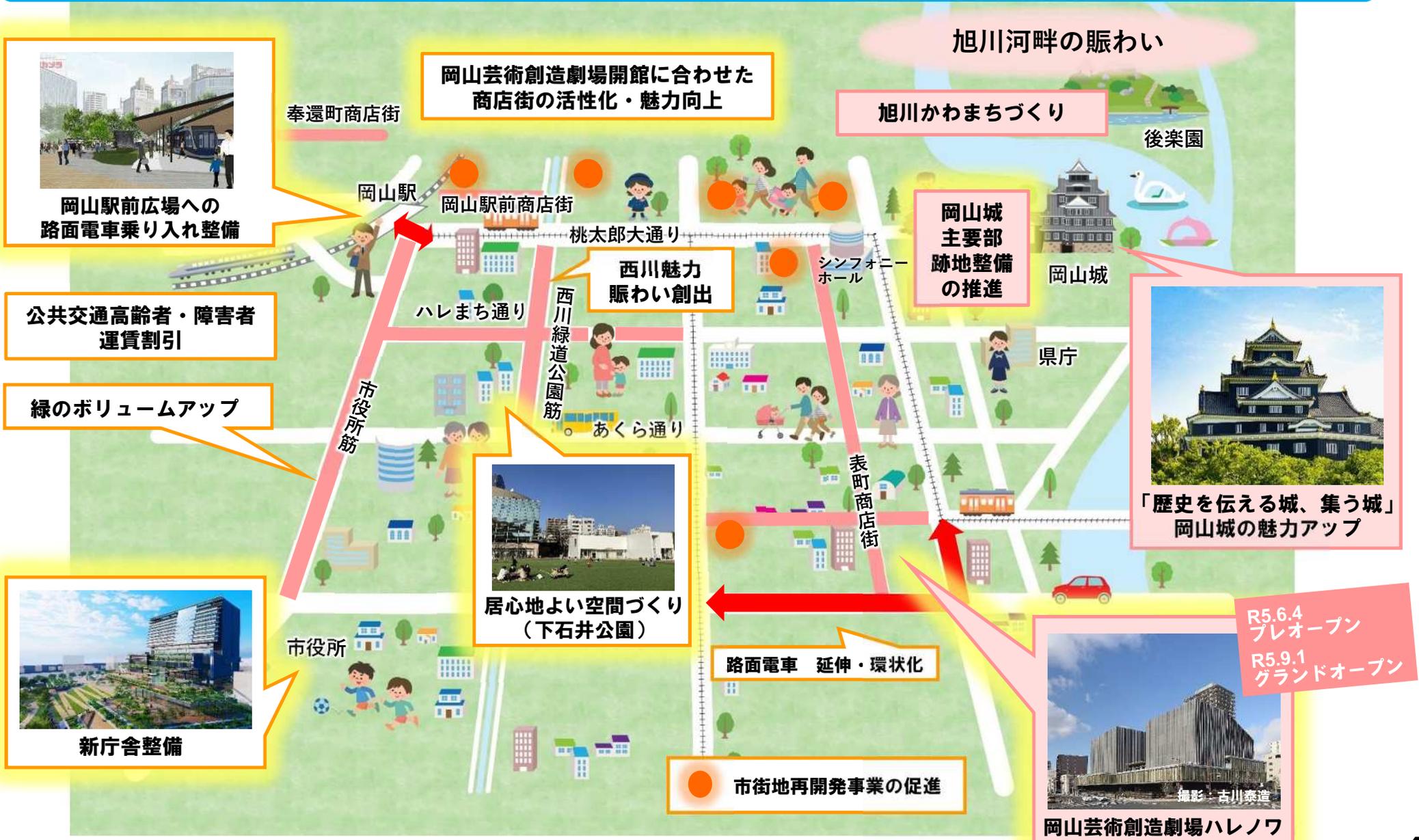
現在編成中の令和4年度2月
補正予算への追加も含め、
**必要な対策に迅速かつ積極的
に対応**してまいります。

- ・地域経済への支援
- ・事業者への支援
- ・市民生活への支援
- ・感染拡大防止対策 など

さらには、
市民生活の状況や
地域・経済界の声
などを十分に把握
したうえで…

街を楽しむ

市内外から様々な人が集う、回遊性が高く、居心地のよい、歩いて楽しめるまちづくり



掲載しているイメージパースは現時点のものであり、今後変更の可能性があります。



ハレノワは、市民に親しまれ、誇りともなる岡山の新たな文化芸術の拠点施設として、その幕を開けます。ハレノワでつながり、ハレノワから広がる、みんなで作る色とりどりの「ハレ」の輪が、新たな劇場を彩っていきます。

【劇場のコンセプト】

○魅せる（鑑賞機会の充実）

文化芸術に親しむきっかけをつくり、舞台芸術の魅力、多様さを伝える

- ・開館事業での大型公演に加え、社会課題を演劇にした公演なども幅広く実施

○集う（地域の賑わい創出）

市民が気軽に訪れられる劇場とすることで、劇場周辺の賑わいを創り出す

- ・街中をハレノワ開館に染めるフラッグや、ラッピング電車を使い、開館機運を一段と高める

○つくる（創造・育成・連携）

岡山発の作品をつくり、人材をつくり、劇場周辺部のまちづくりにも寄与する

- ・高校生を対象に、国内外で活躍中の演出家や劇作家を講師に迎え、戯曲・演劇を創作
- ・市民ダンサーとアーティストが創作し、地域で踊り続けられるダンスの創作プロジェクトを実施

【令和5年度事業スケジュール概要】

○令和5年6月4日（日）：プレオープン

- ・記念式典（中劇場）：整備関係者600人程度出席予定
- ・感謝状贈呈：緞帳寄附者、愛称・ロゴマーク作者等
- ・記念公演（大劇場）：ダンスパフォーマンス
[振付] 北村成美
[出演] 花柳大日翠、平井優子、市民ダンサー 等
※公募により市民を招待し、鑑賞を予定。
- ・表町千日前「記憶の写真展」 など

○令和5年9月1日（金）：グランドオープン

- ・オペラ『メデア』によるこけら落とし
※チケット（一般）発売は、4月8日（土）開始。
- ・開館事業特設HP：2月14日（火）公開予定
- ・開館事業一覧リーフレット：3月1日（水）配布予定

○令和5年10月1日（日）：貸館利用開始

- ・（公財）岡山文化芸術創造による創造事業の実施など、劇場管理運営を本格化

地域振興基金を活用した経済・文化・生活の向上

○ 毎年度最大3.5億円を目途に地域振興基金を活用

岡山御津お正月研究会

(伝統的なお飾りや麦ストロー作りを通じた高齢者の生きがいづくり)

まやかみ振興会

(地域の特産品の販売やそれらを活かした加工品の開発・販売)

創・和

(規格外の白桃を活用した農家カフェ)

あしもり遊学舎

(地元産野菜の加工販売やレンタルスペースの提供)

旧足守藩侍屋敷保全事業

高松ヘルシーパークリニューアル事業

高松城址公園さくら再生事業

高松城址公園資料館リニューアル事業

造山古墳記念イベント

一宮浄化センター旧施設跡地整備事業

シニアサポート倶楽部「ねこの手妹尾」

(高齢者の生活支援)

東新田安心生活応援ボランティアの会

(高齢者の生活支援)

サウスヴィレッジ跳ね橋・トイレ等リニューアル事業

- 地域の未来づくり推進事業
(ビジネスの視点による地域課題解決への取組を支援)
- 上記以外の主な地域振興基金活用事業
- 地域振興基金活用対象エリア
(平成の合併地域、人口減少率が10%以上の中山間地域等)

鶴田城址整備における鶴田地区アクティブ推進事業

法寿山歴史の遊歩道「たけべ古道」を核とした八幡温泉周辺観光スポット発掘事業

めだかの学校魅力アップ事業

かながわSAKAGURA魅力アップ事業

アルサクセス

(地元産野菜を提供する古民家レストランと独居世帯への配食サービス)

瀬戸地区ホッケー競技振興事業

KKM川崎

(空き倉庫を活用した音楽やクラフトビールを楽しめるカフェ)

西大寺観音院トイレリニューアル事業

西大寺イルミネーション事業(仮称)

犬島におけるオンライン健康相談等モデル事業

犬島自然の家星空資源活用事業

地域の振興

- **地域の課題解決や地域資源を活用した魅力ある地域づくりに向けて、地域振興基金も一部で活用しながらハード・ソフト両面からの各種取組を総合的に推進**

1. 経済・産業の振興

農業振興や道路整備、コミュニティビジネスの支援などによって、地域の経済・産業の振興につながります。

○ 儲かる農業の実現

担い手の確保・育成、スマート農業の導入、農地の集積・集約化、生産基盤の整備、農産物の販路拡大、有害鳥獣対策などを総合的に推進



地域おこし協力隊 御津(五城)

○ 道路ネットワークの充実・強化

岡山赤穂線など、道路整備によって、公共投資のフロー効果だけでなく、エリア価値向上につながるストック効果も発現



岡山赤穂線の整備イメージ

○ 地域の未来づくり推進事業

新たな特産品の開発や農産物の加工販売、獣皮の活用など、コミュニティビジネスの創出を支援



地元産クラフトビールの開発 (西大寺)

など

2. 地域の歴史・文化の継承

地域の歴史・文化の掘り起こしや磨き上げによって、地域の誇りの醸成や地域の活性化につながります。

○ 旧足守藩侍屋敷の保全事業

旧足守藩侍屋敷遺構の母屋屋根の葺き替えを実施

侍屋敷



○ わが町スポーツの振興

JOCジュニアオリンピックカップ第53回全日本中学生ホッケー選手権大会を瀬戸地区にて開催



選手権大会

○ かながわSAKAGURA魅力アップ事業

長寿命化の改修に併せて、歴史・観光情報の充実

かながわSAKAGURA



○ 交流機会の創出と伝統芸能の再発見

交流機会創出のために実施する南区ふれあいフェスティバル(仮称)において、藤田傳三郎太鼓や迫川の獅子舞等を披露予定



迫川の獅子舞

など

3. 生活機能サービスの維持・向上

生活交通の維持・確保や子育て環境の整備などによって、地域住民の生活を守ります。

○ 生活交通の維持・確保

市内8地区(御津・建部、足守、牧山、馬屋上・野谷、城東台・草ヶ部、千種、角山、迫川)でコミュニティバス等を運行、3地区(横井、朝日、幸島)で導入に向けて検討



デマンド交通(迫川)

○ 地域の子育て環境の充実

- ・放課後児童クラブの整備(中山、平福、芳明等)
- ・市立認定こども園の整備(政田、浦安・芳泉、西大寺、御野、幡多、南輝)
- ・私立認定こども園(民営化)の施設整備補助(大元、財田、西大寺南、豊)

○ 地域の安全・安心に向けた取組

- ・生活道路の整備・修繕
- ・用水路等の転落防止対策
- ・通学路等の安全対策
- ・防犯灯・防犯カメラの設置補助
- ・分団機庫整備(雄神、小串)
- ・東区集中備蓄倉庫の整備

ほか

など

令和5年度 子ども・子育て支援の充実

人口減少、少子高齢化が進行する中、希望する誰もが安心して子どもを生き育てることができ、すべての子どもの権利・意思が尊重され、子どもが将来に夢と希望をもって健やかに成長できる環境づくりに全力で取り組みます。

①子ども医療費助成の拡充

- ・小学生の通院医療費を全額助成【**拡充**】
- ・中学生・高校生の通院医療費を2割助成【**新規**】
- ・高校生の入院医療費を全額助成【**新規**】

②児童虐待防止の推進

- ・SNSを活用した相談支援
- ・虐待通告等の電話相談の受付【**新規**】
- ・子育て世帯への訪問支援【**新規**】
- ・要保護児童見守り等の強化【**新規**】

③困難を抱える子どもとその家庭への支援

- ・ヤングケアラーコーディネーターの配置【**新規**】
- ・子どもの居場所づくりの支援【**拡充**】
- ・子どもの生活実態調査の実施【**新規**】
- ・ひとり親家庭の自立促進【**拡充**】

④就学前教育・保育の充実

- ・保育士の確保対策
- ・保育支援者配置助成の拡充【**拡充**】
- ・使用済みおもむつの園廃棄・現金徴収キャッシュレス化【**新規**】
- ・医療的ケア児・重度障害児の受入体制の整備

⑤放課後児童クラブの充実

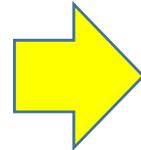
- ・施設整備による受け皿確保
- ・届出済民間クラブの活用

子ども医療費助成の拡充

(安心して子育てする環境整備)

【拡充内容】

改正前	通院	入院
就学前	無料	無料
小学生	1割	無料
中学生	(3割)	無料
高校生	(3割)	(3割)



改正後	通院	入院
就学前	無料	無料
小学生	無料	無料
中学生	1割	無料
高校生	1割	無料

【通院】

- 小学生の自己負担額を全額助成 (1割負担→無料)
- 中学生の自己負担額を一部助成 (3割負担→1割負担)
- 高校生の自己負担額を一部助成 (3割負担→1割負担)

【入院】

- 高校生の自己負担額を全額助成 (3割負担→無料)

※高校生とは、在学の有無に関わらず18歳に達した日以後の最初の3月31日までの者

【拡充分の試算】

(1年分)	通院	入院
小学生	3.4億円	(助成済)
中学生	3.2億円	(助成済)
高校生	3.2億円	0.3億円
合計	10.1億円	

令和6年度から通年化。

令和5年度における影響は1か月分のみ。

【助成拡充に対する財政的な備え】

- ◎令和6年度以降 毎年10億円の医療費増
- ◎10年間で約100億円の財政負担が増加
- ◎その負担増に対する備えとして、
地域福祉基金へ50億円程度積立予定
- ◎その財源として、
 - ・令和4年度決算見込に伴う歳入増 (地方消費税交付金 等)
 - ・令和3年度からの繰越金
 - ・第1期工事完了に伴う庁舎整備基金の残額 等

【参考】令和5年度当初予算額

(単位：千円)

子ども医療費	通常分	2,216,000
	拡充分	84,000
	小計	2,300,000
事務費	通常分	86,000
	拡充分	60,000
	小計	146,000
合計		2,446,000

※子ども医療費拡充分は、R6.1診療分～
(R6.3支払のみ)

児童虐待防止の推進（1 / 3）

令和4年1月に発生した被虐待児童死亡事例の検証を踏まえ、虐待から子どもを守る体制を大幅に強化します

1. 被虐待児童死亡事例の概要

- ・令和3年9月25日、岡山市において、児童（以下「本児」）が窒息による低酸素脳症により意識不明となり、令和4年1月12日に死亡した。
- ・その後、母親及び交際男性が、低酸素脳症の傷害を負わせ死亡させたなどとして逮捕監禁致死、強要罪で起訴された。
- ・本家庭については、平成31年3月からこども総合相談所及び地域こども相談センターが支援対応を行い、令和2年9月には本児を一時保護したこともあったが、命にかかわる虐待がなされる危険性までは察知できていなかった。

2. 岡山市児童福祉審議会児童処遇専門分科会による検証報告書

<本事例に関する問題点・課題>

必要な情報が
必ずしも取れ
ていない

情報に基づい
て的確な判断
が必ずしもで
きていない

主な問題点	課題
一時保護の時点で交際男性を「保護者」と評価するだけの情報が不足していた。	①これまで家庭に関わってきた機関（こども総合相談所、地域こども相談センター、保健センター、福祉事務所、本児の所属機関）などが保有する情報が共有されず、的確な虐待リスクの判断ができていなかった。
本児のみを一時保護し、きょうだいも一時保護しなかったため、虐待の実態、危険性の予測ができていなかった。	②こども総合相談所の業務負担が過重な状況で十分な対応ができていなかった。 ③虐待通告を行なった警察の危惧がこども総合相談所に伝わっていなかった。
一時保護の原因となった本児を全裸で叱責した行動を「本児にトラウマを与える重要な攻撃」「性的虐待」と考えず、2週間で解除を行った。	④こども総合相談所内でスーパーバイズが機能しておらず、担当者の判断に適切な助言を行っていなかった。 ⑤こども総合相談所が一時保護や親子分離などの重要な支援決定をする際に、外部有識者から専門的な助言を積極的に受けていなかった。

再発防止に
向けた提言

- 1 組織・人員体制の見直し、職員の資質向上、スーパーバイザーの配置、多様な職種の活用方法
- 2 状況に応じた適切なアセスメントを行う体制
- 3 状況を把握し、適切な支援を行うための関係機関による情報共有及び連携のあり方
- 4 国への提言並びに社会全体で取り組むこと

児童虐待防止の推進 (2 / 3)

【 提言 】

【児童虐待対策事業 令和4年度30,283千円 ⇒ 令和5年度116,838千円】

事業費 93,800千円

【 事業効果 】

【提言1】

組織・人員体制の見直し・資質向上、多様な職種活用

【提言3】

状況を把握し適切な支援を行うための情報共有のあり方

【提言4】

国への提言並びに社会全体で取り組むべきこと

1.虐待通告等電話相談受付事業【新規】

33,853千円

休日夜間における虐待通告や養育相談等の受付業務の委託によるこども総合相談所業務の集中・効率化

2.法的対応機能強化事業【拡充】

3,725千円

非常勤弁護士勤務時間延長による外部有識者の助言体制整備

3.子どもの権利擁護推進事業【新規】

722千円

一時保護児童への弁護士聴取による子どもの権利実現の支援

4.児相及び一時保護所の第三者評価事業【新規】

1,600千円

外部機関の第三者評価によるこども総合相談所の資質向上

5.SNS活用相談支援事業【継続】

30,700千円

SNSを活用した相談体制の整備による虐待の早期発見

6.子育て世帯訪問支援事業【新規】

6,300千円

育児・家事等の負担を抱える家庭等に対する家事援助等の養育支援による虐待リスクの高まりの未然防止 ※R4までは養育支援訪問事業として実施

7.要保護児童見守り等強化事業【新規】

7,800千円

子育て支援を行う地域のNPO法人等と連携し、要保護児童等の見守りが必要な家庭に対して訪問等の支援を実施

8.児童相談システム改修事業【拡充】

8,000千円

児相システム改修による部署間の迅速な情報共有と資料作成の効率化

9.こどもの虐待防止推進全国フォーラムwithおかやま(仮称)【新規】

1,100千円

11月の児童虐待防止推進月間にこども家庭庁との協働により開催

子どもの保護・虐待対応の強化

虐待の未然防止・早期発見

機関連携情報共有

市民啓発

児童虐待防止の推進 (3 / 3)

一体的な虐待対応と支援を行うため、相談支援機関の組織を拡充・強化するとともに、より迅速・確実な情報共有が行える体制を整備します

下線はR5年度実施、赤字はR5年度予算案、() 数字は前ページの各事業番号

1 組織・人員体制の見直し・資質向上、多様な職種活用

- ・専門職（児童福祉司、児童心理司等）の増員による体制強化（R4こども総合相談所2人・地域こども相談センター5人）（R5検討）
- ・社会福祉業務等職務経験者の配置（R5検討）
- ・こども総合相談所スーパーバイザーの配置（R5検討）
- ・虐待通告等電話相談受付事業（R5実施）（1）
- ・法的対応機能強化事業（R5実施）（2）
- ・子どもの権利擁護推進事業（R5実施）（3）
- ・こども総合相談所及び一時保護所の第三者評価事業（R5実施）（4）
- ・SNS活用相談支援事業（R4、5実施）（5）

・スーパーバイザーも含む人員の増、外部の知見の取入れ等により、担当者の負担の軽減を行いつつ、よりの確なケース対応を実現する。（課題②④⑤）

2 状況に応じた組織的なアセスメントを行う体制整備

- ・こども総合相談所と地域こども相談センター間において、新たな共通アセスメントシートを活用して、ケース担当の適切な役割分担を行うとともに、その仕組みが継続的に機能されるためのルール化を行う（R5実施）

・こども総合相談所と地域こども相談センターが、共通のリスク認識の下、適切に役割を分担し、ケースの状況に応じた、より十分な対応につなげる。（課題①②）

3 状況を把握し適切な支援を行うための情報共有

- ・学校園への「見守り依頼票」配布（R4実施）
- ・こども総合相談所と地域こども相談センターの児相システムの相互アクセス及び、6保健センター等への児相システム端末設置（R4実施）
- ・岡山県警との合同研修会（R4実施）
- ・こども総合相談所への現職警察職員の配置（協議中）
- ・子育て世帯訪問支援事業（R5実施）（6）
- ・要保護児童見守り等強化事業（R5実施）（7）
- ・児童相談システム改修事業（R5実施）（8）

・関係機関が取得した情報を迅速・確実に共有し、警察との連携も強化することで、より適切な判断につなげる。（課題①③）

4 国への提言並びに社会全体での取り組み

- ・厚生労働省への提言書の提出・情報提供（R4実施）
- ・こどもの虐待防止推進全国フォーラムwithおかやま（仮称）（R5実施）（9）

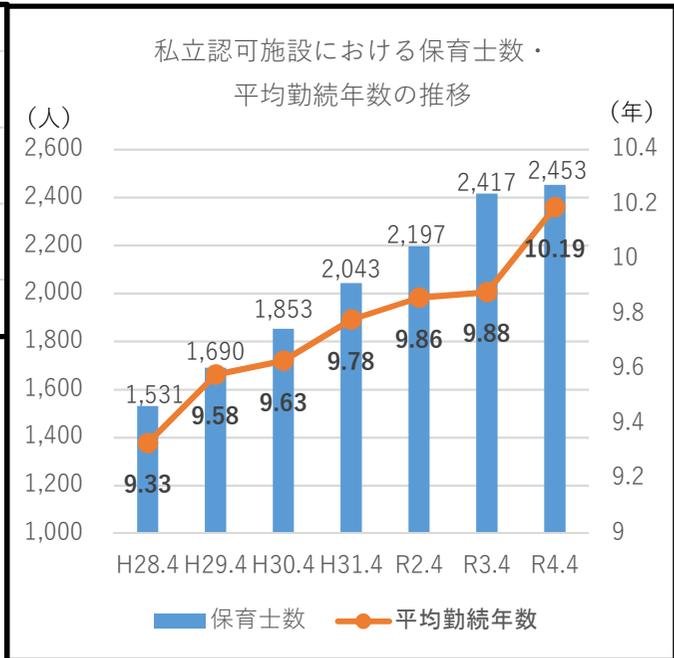
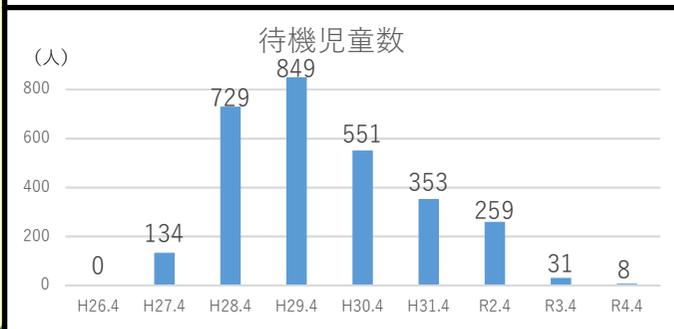
就学前教育・保育の充実

令和5年4月
 受け皿確保数 …約21,200人分
 申込児童数 …19,155人
 (一次申込)

一 概 況

これまでの受け皿整備(約2,000人分の余剰)と保育士確保により待機児童は概ね解消
 しかしながら一部保育士不足と個別事情(重度障害児など)により待機児童が発生

- 保育士確保(量の確保を継続)
- 個別事情等への対応(質の向上)



●保育士確保【量の確保を継続】

●保育士採用支援

- ①民間保育士の処遇改善 232,000千円(給与上乗せ約2%で継続)
- ②保育士宿舍借り上げ支援事業 30,000千円(家賃一部助成)
- ③奨学金返済支援事業 20,000千円(交付決定済みの人のみ継続)

●保育士離職防止

- ④保育士お悩み相談事業
- ⑤保育園運営改善支援研修(市保育協議会、外部研修の紹介)

●保育士の負担軽減

- ⑥業務効率化推進事業費補助金(ICT化)
- ⑦私立園保育支援者配置助成 150,000千円
(R5年度から)対象施設の拡充、スポット支援者配置)

●イメージアップ・底上げ

- ⑧保育士イメージアップ動画作成(R2.12月から公開)

●個別事情等への対応【質の向上】

●医療的ケア児の受け入れ

- ①市立園で医療的ケア児の受け入れ開始
- ②私立園で医療的ケア児を複数受け入れる場合の補助継続

●重度障害児の受け入れ

- ①市立園で保育士1対1の対応が必要な比較的重い障害を持った児童の受け入れ
- ②障害児拠点園の増設
(浦安・芳泉認定こども園(仮称) 令和6年度開園)

●低所得者世帯への対応

- ①認可保育園へ入園できず認可外保育施設を利用している低所得世帯の3歳未満児の利用料の一部を給付

●保護者の利便性向上

- ①使用済みおむつの園廃棄の推奨
- ②市立園での現金徴収のキャッシュレス化

困難を抱える子どもとその家庭への支援

【令和5年度 子どもの貧困対策主要事業】

支援する仕組みの強化

～困窮世帯のSOSを見逃さない社会づくり～

◆子どもの居場所づくり促進

14,300千円 こども福祉課
相談窓口、支援活動立ち上げ助成、アドバイザー派遣、親子応援メール、体験活動等支援

◆【拡充】子どもの居場所等継続支援事業

7,200千円 こども福祉課
光熱費、食材料費高騰の負担分について支援金を支給

◆【新規】ヤングケアラー支援体制強化事業

16,900千円 こども福祉課
ヤングケアラーコーディネーター配置

◆【新規】こどもの生活実態調査

7,207千円 こども福祉課
調査結果を踏まえR6年プランの見直し

自立支援・経済的支援

～保護者への支援～

◆就学援助費等支給事業

945,000千円 就学課
経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に学用品等の就学援助費を支給

◆【拡充】ひとり親家庭相談・支援事業

17,668千円 こども福祉課
平日夜間及び休日の相談・支援の実施

◆【拡充】養育費確保支援事業

2,500千円 こども福祉課
①公正証書等作成支援補助金
②【新規】養育費履行保証契約支援補助金

◆ひとり親家庭の母・父の就労のための資格取得支援

91,450千円 こども福祉課
①自立支援教育訓練給付金
②高等職業訓練促進給付金
③高卒認定試験合格支援給付金

学習・体験支援

～子どもへの支援～

◆高校生給付型奨学金

95,300千円 こども福祉課
経済的困難な世帯の高校生を対象に返済不要の奨学金を給付

◆子どもの学習サポート

78,560千円 生活保護・自立支援課
こども福祉課
生活困窮世帯の小学生～高校生世代の児童を対象に、①教室集合型、②訪問・オンライン等での学習・生活支援を実施

◆子どもの居場所づくり促進

(再掲) 14,300千円 こども福祉課
相談窓口、支援活動立ち上げ助成、アドバイザー派遣、親子応援メール、体験活動等支援

子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、また困難が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。

新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興

コロナ禍における
エネルギー価格等高騰への対応

中小企業活性化事業

112,000千円

○省エネ等への設備投資支援やゼロゼロ融資借換等の事業課題の相談事業を実施

1. 中小企業設備投資等支援事業
2. 中小企業事業継続相談支援事業【拡充】

岡山芸術創造劇場開館に 合わせた商店街活性化事業

90,000千円

○商店街の魅力向上のため、アーケードやLED照明等の施設整備を支援

1. 商店街基盤整備事業【新規・拡充】

企業の事業継続・成長を支援

中小企業活性化事業【再掲】

○省エネ等への設備投資支援やゼロゼロ融資借換等の事業課題の相談事業を実施

1. 中小企業設備投資等支援事業
2. 中小企業事業継続相談支援事業【拡充】

中小企業デジタル化推進事業

96,400千円

○中小企業のデジタル化やDXを支援

1. IoT・AI等先端技術導入支援事業
2. クラウドサービス等の導入支援事業【新規】

岡山芸術創造劇場開館に 合わせた商店街活性化事業 【再掲】

○商店街の魅力向上のため、アーケードやLED照明等の施設整備を支援

1. 商店街基盤整備事業【新規・拡充】

拠点性を活かした
企業誘致の推進

企業立地推進事業

1,292,000千円

○地域経済の活性化や雇用の創出のため、補助制度を拡充し、岡山市の立地環境の優位性を活かした企業誘致を促進

1. 本社・中四国支店等立地推進事業補助金【拡充】
新たにオフィス賃料補助を追加
2. IT・デジタルコンテンツ産業等推進事業補助金【拡充】
新たにオフィス賃料補助を追加
3. 企業立地促進奨励金
4. 物流施設誘致促進奨励金
5. 再投資・拠点強化促進奨励金

※予算額は令和4年度以前に補助金の認定を受けた企業に対する交付予定額

起業・創業の支援

スタートアップ支援事業

100,000千円

○経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援メニューを強化し、スタートアップ企業が生まれ、事業成長する環境づくりに取り組む

1. 起業の裾野拡大をさらに推進
(1)次世代起業家育成事業【新規】
中高生の起業家精神醸成や起業家的資質向上を目的としたプログラムを実施
2. 事業成長の支援を強化
(1)X-Techビジネス創出促進事業【新規】
起業家のビジネスアイデア実現やビジネスプラン成長に必要なスキル習得を支援
(2)GovTech Challenge OKAYAMAの実施【拡充】

多彩で活力ある農林水産業の振興

意欲ある農業者等への支援と農産物のブランド化を進め、「持続可能」で「儲かる」農業の基盤づくりと競争力強化を推進



I. 新規就農サポート

【新規】新規就農者サポート事業

認定新規就農者の農業経営開始後5年間の経費を支援 5,000千円

【対象経費】

- ・ 経営発展支援事業(国事業)の採択を受けた農業用機械・施設・資材等の取得、改良、リース費
- ・ ガラス温室などのハウス撤去費用
- ・ 農地賃料
- ・ 大型特殊・けん引免許取得費

II. 意欲ある農業者への支援

① 環境保全型農業推進事業

環境にやさしく安全・安心な生産体制を確立するための取組を支援

【拡充】スマート農業の導入支援 10,300千円

【継続】有機農業への取組を支援 5,000千円

③ 担い手育成対策事業

新規就農者や後継者等の次世代を担う農業者を支援

【継続】人手不足の農家と農業に興味がある人を繋ぐ農業マッチングアプリへの支援 900千円

② 農作物被害対策事業

野生鳥獣被害から農作物を守るため、防護、捕獲及び人材確保を支援

【継続】モデル実証地区における個別支援 10,000千円

【継続】生産効率化に必要な共同利用機械等の導入や規模拡大の取組に対する支援 45,200千円

III. ブランド化

① 岡山ブランド農産物育成事業

農産物の認知度向上・販路拡大を図るため、市内外でPRを実施

【継続】首都圏で地産メニュー・サンドイッチフェアを開催 11,000千円

② 米消費拡大推進事業

市産米の魅力をPRし、消費拡大を図る

【拡充】お米スタンプラリーの対象店舗・景品拡大 4,800千円

デジタル化関連事業

～デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進～

地域経済の発展と市民一人ひとりの幸せを実現していくため、**地域社会のDX、市民サービスの向上、行政事務の効率化**の3つの施策分野を掲げる中で、DXによる「住みやすく躍動感のある」まちづくりを実現していきます。

デジタル化関連事業予算 約17億61百万円

地域社会のDX

9億75百万円

デジタル技術の活用で地域産業の生産性向上につなげるほか、教育、健康福祉、防災等の分野でも幅広く活用して安心で快適な生活を実現します。

- ◆ 中小企業デジタル化推進事業
- ◆ AIカメラによる商店街通行量調査
- ◆ スタートアップ支援事業
- ◆ スマート農業推進モデル事業
- ◆ 桃太郎のまち岡山創造発信事業
- ◆ オープンデータの推進
- ◆ GIGAスクール構想の推進
- ◆ 福祉施設等のデジタル化支援
- ◆ アプリを活用した健康的な生活習慣推進事業 など



市民サービスの向上

6億27百万円

行政手続きのオンライン化や公金収納のキャッシュレス化を推進し、窓口を含むサービスの利便性を向上させます。

- ◆ LINEセグメント配信導入
- ◆ 市営墓地管理の効率化
- ◆ 行政手続きのオンライン化
- ◆ 公金収納のキャッシュレスの推進（コンビニ・スマホ収納の拡大）
- ◆ マイナンバーカードの普及促進 など



行政事務の効率化

1億59百万円

全庁的なBPR（業務改革）を実施して業務の効率化を図るほか、情報システムの標準化、働き方改革等を着実に前に進めます。

【業務の効率化】

- ◆ 業務量調査に基づく業務改革の推進
- ◆ デジタル技術の活用による業務効率化
- ◆ ごみ処理事業ICT導入検討
- ◆ 自治体システムの標準化 など



【イメージ】

デジタル技術を活用した観光振興



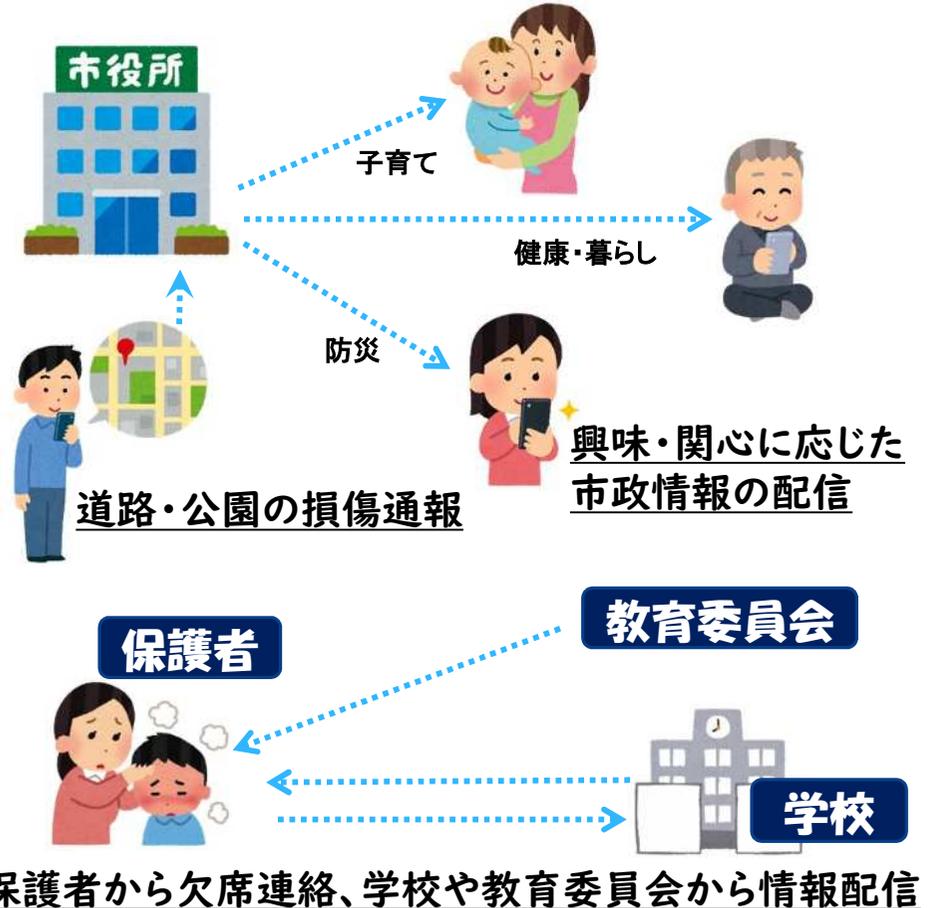
デジタルを活用することで
旧城下町エリアに新たな体験型コンテンツを創出
(例:ARを活用した謎解き・スタンプラリー)

観光誘客

中心市街地の魅力と
賑わいの創出

来訪者の満足度の向上・滞在時間の延長・
リピート客の増加

市民と行政をつなぐ新たな コミュニケーションの形をLINEで実現



より地域を元気に ・ より生活を便利に

地球温暖化対策事業～GXの推進～

地球温暖化対策の動向

2021年11月のCOP26において、「世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を迫る」とされ、これまで努力目標だった1.5℃が世界の新たな共通目標となったことで、世界における脱炭素の動きはますます加速すると予想される。

岡山市の現状

【再生可能エネルギーの活用】

岡山市導入量（令和3年度）
338,656kW（政令市第4位）



【バイオディーゼル燃料の活用】

岡山市使用量（令和3年度）バス：423kL ごみ収集車等：59kL
（政令市では他に京都市（約400kL）、北九州市など）

岡山市の最近の取組

2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

2021年2月2日、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざすことを共同で宣言し、13市町で構成する岡山連携中枢都市圏において、取組を行っていくことを発表。

【主な取組事項】

- ゼロカーボン研究会の開催
- 一斉ライトダウンキャンペーン等の啓発事業
- 太陽光発電設備等共同購入事業の実施（ほか）

「再エネ100宣言 RE Action」へ参加



ゼロカーボンの実現には、市内の大規模事業所である市役所自身が積極的に取り組む必要があるとして、2021年7月29日付で、参加するとともにアンバサダーに就任した。

【取組内容・目標】

- 使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する。
- 2050年までに使用電力のRE100を実現する。

令和5年度予算額

地球温暖化対策事業予算 1,646,959千円

①再生可能エネルギーの導入促進	443,629千円
②省エネルギーの推進	655,957千円
③その他の事業	547,373千円

地球温暖化対策事業の主な取組

令和5年度からの取組

○プラスチック資源の分別回収・リサイクル（184,800千円）

令和6年3月から、家庭から出されるプラスチックの分別回収を実施する。

○食品ロス削減推進事業（1,408千円）

マッチングサイトを開設し、食品小売店や外食産業で食品ロスになりそうな食品の減量を図る。

○学校給食の食品リサイクル事業（3,000千円）

学校給食において焼却処理をしている給食残渣をメタン発酵処理施設へ搬入し食品リサイクルに取り組む。

○ZEH普及啓発事業（210千円）

住宅のZEH化の更なる普及拡大を図るための啓発活動を実施する。

実施中の取組

○スマートエネルギー導入促進事業補助金（285,000千円）

太陽光発電設備及び省エネ設備の設置、電気自動車等の購入費用の一部を補助する。

○ゼロカーボン研究会の開催（7,000千円）

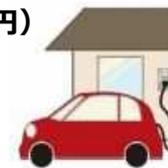
周辺市町や産学等を交え、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組を研究する。

○太陽光発電設備等共同購入事業（1,082千円）

太陽光発電設備等の購入希望を募り、スケールメリットを活かした価格低減により、太陽光発電設備の更なる導入促進を図る。

○電力の自己託送事業（9,000千円）

東部クリーンセンターで発電した電力の一部を、一宮浄化センターへ自己託送し、地域での電力の有効活用を図る。



次世代自動車

PHOの実現を推進！！ 健康寿命延伸と生涯活躍のまちづくり

PHOの実現へ

アプリで楽しく継続 【健康ポイント事業】

365日アプリで楽しい健康づくりをサポート、官民協働で取り組む自然と健康になれるまちづくり

【新規】R5予算 80,000千円

高齢者等の活躍を応援 【生涯活躍就労支援事業】

民間就労支援機関のノウハウを活用した就労支援や企業開拓により、意欲ある高齢者等の就労・社会参加を促進

R5予算 33,500千円

介護が必要でも就労・社会参加活動 【総合特区高齢者活躍推進事業】

介護事業所における就労・社会参加活動の普及拡大を目指してモデル事業を実施

R5予算 1,538千円

早期発見で介護リスク軽減 【フレイル対策事業】

フレイル予防に関する周知啓発や、市民の身近な薬局や通いの場等でフレイルチェックを実施

【拡充】R5予算 10,400千円

チームオレンジ 【認知症サポーター活動促進事業】

認知症の人がどう暮らしていきたいかの「声」を聴いた地域づくりを推進

【拡充】R5予算 7,900千円

がんとの共生

【がん患者アピアランスサポート事業】

治療により外見の変化が生じてても社会活動を継続できるよう支援を実施

【新規】R5予算 7,200千円

健康寿命延伸



健康ポイント事業

生涯活躍就労支援事業

総合特区事業

がんとの共生



フレイル・
認知症対策
事業

在宅医療の推進
医療・介護連携

けん診等

重層的支援
体制整備

在宅医療・介護の推進 【在宅看取り等普及啓発事業】

医師会と協働で在宅医療や自宅看取り等の普及啓発をさらに促進

【新規】R5予算 7,140千円

全世代、全分野対応型 支援体制の構築 【重層的支援体制整備事業】

相談支援、社会参加への支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施

【拡充】R5予算 1,733,278千円

下水道・河川等による浸水対策事業

- 平成30年7月豪雨を受け、**国や県と連携しながら、約2,230戸の床上浸水解消を目指して浸水対策事業を実施中**
- 令和5年6月の今保排水区でのポンプ場暫定供用により**約290戸の床上浸水が解消され**、加えて岡山県による砂川改修事業概成などにより、令和6年6月には、あわせて**約7割に当たる約1,590戸の床上浸水解消が見込まれる**
- 横井排水区や津島排水区のポンプ場整備により、**約330戸の床上浸水解消を目指す**
- 用水路の事前水位調整などの取組みや、国・県による旭川水系のダム再生、河川整備事業が進むことで、**さらなる床上浸水解消が見込まれる**
- 浦安排水区など、**過去に浸水被害を受けた地区の浸水対策事業も引き続き実施中**
- 『岡山市浸水対策の推進に関する条例』に基づき、市、市民、事業者が連携した**総合的な浸水対策により被害の低減に努める**



令和5年度の主な事業

○今保ポンプ場・白石ポンプ場整備 (678百万円)

今保排水区の今保・白石ポンプ場については、令和5年6月の暫定供用に向け、引き続き整備を実施します。

○横井排水区、津島排水区 (160百万円)

横井・津島排水区のポンプ場についても基本設計、法手続き等、整備に向けて取り組みます。

○浦安11号雨水幹線整備 (1,076百万円)

令和6年度の供用に向け、延長約3.7kmの雨水幹線の仕上げ工事を実施します。

○河川排水機場の整備及び設備更新 (817百万円)

令和5年度より山崎地区のポンプ施設整備に着手します。また原尾島・中川・今谷・沢田排水機場の設備更新を実施します。

○市管理河川の計画的な浚渫・樹木伐採 (31百万円)

市街化区域内等の河川について維持管理計画に基づき計画的に浚渫・樹木伐採を行います。

() は令和5年度当初予算

SDGs未来都市推進関連事業

ESD先進都市岡山市として持続可能な社会づくりに取り組み、「経済」、「社会」、「環境」の三側面においてSDGsの達成を目指し以下の取組を強化していきます。

- ①SDGsに取り組む地域事業者が得た収益が地域に還流・再投資される「自律的好循環」の確立
岡山市SDGs推進パートナーズ制度の運営により企業のSDGsの取組を促進する
- ②社会で注目されている環境問題の解決に向けた取組
太陽光発電設備等共同購入事業による太陽光発電設備等の更なる導入促進を図る

令和5年度のSDGs重点施策

経済

産業の創出・育成

新たな雇用とまちの活力を創出し、持続的に発展できるまちの実現を目指します。

■主な取組

- ・岡山市SDGs推進パートナーズ制度 2,829千円
- ・スタートアップ支援事業 100,000千円
- ・企業立地推進事業 1,292,000千円
- ・活力ある農林水産業の振興 6,760,420千円



社会

ESD/保健・福祉・生涯活躍の取組/ 女性活躍の推進

ESDの学びや実践、人材育成等によりSDGsの達成に貢献します。

■主な取組

- ・ESD岡山アワード 2,045千円
- ・岡山ESDプロジェクトの実施 17,600千円
- ・子どもの貧困対策の推進 1,276,562千円
- ・児童虐待防止の推進 93,800千円
- ・健康づくりと生涯活躍推進事業 113,500千円
- ・女性が輝くまちづくり事業 14,600千円



ESD岡山アワード表彰式

環境

環境問題の解決

脱炭素型で環境負荷が低減された循環型社会の実現、自然環境との共生を目指します。

■主な取組

- ・太陽光発電設備等共同購入事業の実施 1,082千円
- ・SDGs守ろう！海・川プロジェクト（海ごみ対策） 11,587千円
- ・生物多様性保全の推進 8,510千円
- ・ごみの減量化、リサイクルの推進 215,000千円



【SDGs守ろう！海・川プロジェクト】
SDGs海川フォーラム2022